

令和5年度 経営発達支援計画 事業評価報告書

実施期間（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

令和6年2月20日



地方銀行フードセレクション2023



福島県・東白川地区物産展

【評価基準】

- A：目標値が達成できており、効果が認められるもの、または期待できるもの
- B：目標値がおおむね達成できており、ある程度の効果が認められるもの、または期待できるもの
- C：目標値を大きく下回っており、取り組み方法の見直しが必要なもの
- D：計画が実行されておらず、評価ができないもの（計画そのものの見直しが必要なもの）



東白川地区商工会 広域連携協議会
塙町商工会 棚倉町商工会
矢祭町商工会 鮫川村商工会



実施内容と自己評価

1. 地域の経済動向調査に関すること

◆ 計画の概要

景気動向調査・景況調査の実施及び国が提供するビッグデータの活用

◆ 実施内容

- ・福島県商工会連合会が実施する中小企業景況調査を15事業者に対して4半期に1回実施
(15事業者：建設業4者、製造業4者、小売業5者、サービス業2者)
 - ・全国及び国の景況調査資料を活用し、経済動向を東白川の調査結果と比較
 - ・調査結果は、全国及び県が公表している景況調査資料と一緒に埴町商工会ホームページの「経営発達支援事業」のページで公表（他町村商工会HPにはリンクを作成）
 - ・地域経済分析システム（RESAS）の傾向分析を事業計画書策定の際に活用
 - ・RESAS東白川地区動向サマリーとして、埴町商工会HP「経営発達支援事業」で公表
- ※別紙HP掲載を抜粋

◆ 目標

	公表方法	目標	実績
①景況調査公表回数	HP掲載	4回	4回
②ビッグデータの公表回数	HP掲載	1回	1回

◆ 自己評価

景況調査のヒアリングの際は、より細かな経営課題を把握できるように努めた。
景況調査及びビッグデータ共に目標件数を達成することができた。
また、需要動向や顧客ニーズ等の事業計画策定時に活用することができた。

評価委員による評価

1. 地域の経済動向調査に関すること

	A	B	C	D
評価	0	9	0	0

■評価委員コメント欄

- ・商工会独自の調査も検討することになっていたかと思うが、次年度以降に検討してほしい
- ・調査をしましたという報告だけでなく、調査した結果の考察も含めてほしい
- ・目標通り実行できている
- ・15事業者のより細かな経営課題を共有できたら良いと思います
- ・計画策定時に活用できた事は良い
- ・調査結果が事業者に広く周知しているか、又公表方法の多様化が必要では？
- ・事業計画時に使用→展開した結果、事業計画内容にどう変化があったかの資料等あるとよい
- ・今後も把握しながら計画策定時に活用してください
- ・経済動向調査は非常に難しいが、ビッグデータ等を利用してある程度達成できることが良かった
- ・データ分析作成及びデータ公表はできていると思う

実施内容と自己評価

2. 需要動向調査に関すること

◆ 計画の概要

事業者の製品・商品・サービスに関して、イベント・展示会等を活用した需要動向調査を行い、事業者へフィードバックを行う

◆ 実施内容

- ・商談会出展時に、各事業者の商品についてアンケート調査 ※アンケート集計（別紙）

令和5年10月3日～4日 東京ビッグサイト「地方銀行フードセレクション2023」

事業所名	商品名	調査数
ケーフーズ生田目（塙町）	青唐味噌こんにゃく、バタフライピー他	33 名
大相食品（棚倉町）	青豆よせ豆腐、豆乳ソルベ	19 名
グリーンルーツ（矢祭町）	生ラズベリー、ラズベリーピューレ	24 名
ファームつばさ（鮫川村）	titi bar（チチバー）棒アイス	33 名

◆ 目標

アンケート調査 対象事業者数	R5	塙町	棚倉町	矢祭町	鮫川村	合 計
	目標	1 者	1 者	1 者	1 者	4 者
	実績	1 者	1 者	1 者	1 者	4 者

◆ 自己評価

商談会支援と併せて、各事業所の商品についてバイヤーを対象に需要動向調査を実施した。
来場者へ試食やアンケート記入のタイミングが難しく、調査数が若干少なかった。
アンケート結果から顧客の求めている改善点や不満な点を事業者と特定し、優先的に改善することで顧客満足度を向上に繋がるため、継続的に支援を続けていきたい。

評価委員による評価

2. 需要動向調査に関すること

	A	B	C	D
評価	0	8	1	0

■評価委員コメント欄

- ・事業者の実際の反応が知りたい
- ・現状は展示会に出展される事業者が対象のようであるので、地場でされている事業者の調査の検討
- ・この動向調査は難しい
- ・QRコードを使ったアンケートの導入などを検討してはどうか。スマホで回答できるものなど
- ・バイヤーさんからの改善点や不満な点の内容はどのようなものか知りたいと思った
- ・調査、アンケート等地域のイベントでもやった方がよい
- ・出しやすいもの、出しづらいものの対応
- ・アンケート数増やせるとよい
- ・味、使いやすさ以外のアンケート項目（自由記載の項目）の集計結果も可能であれば見たいところ
- ・多くの方にアンケートができるよう改善をお願いします
- ・調査数が少なかったのは残念
- ・継続的な支援が必要
- ・特定の事業者による出展に偏らない手法が必要である
- ・出展事業者をもっと増やしてほしい

3. 経営状況の分析に関すること

◆ 計画の概要

財務分析やローカルベンチマーク、経営計画つくるくん等を活用し、事業者の経営分析を行い経営計画の策定や経営状況を把握する

◆ 実施内容

- ・経営塾（個別相談会）による経営分析 … 10 件 （ 埴5、棚倉2、矢祭2、鮫川1 ）
- ・D X （個別相談会）による経営分析 … 8 件 （ 埴3、棚倉5、矢祭0、鮫川0 ）
- ・小規模事業者持続化補助金申請時の分析 … 8 件 （ 埴1、棚倉7、矢祭0、鮫川0 ）
- ・いきいき支援事業補助金申請時の分析 … 2 件 （ 埴0、棚倉2、矢祭0、鮫川0 ）
- ・融資推薦（マル経等）時の経営状況分析 … 12 件 （ 埴3、棚倉5、矢祭1、鮫川3 ）
- ・その他（もの補助、事業承継等） … 19 件 （ 埴3、棚倉9、矢祭3、鮫川4 ）
- 〃 （福島県コスト削減補助金） … 31 件 （ 埴9、棚倉13、矢祭2、鮫川7 ）
- 合計 90 件

◆ 目標

	R5	埴町	棚倉町	矢祭町	鮫川村	合 計
経営分析事業者数	目標	12 者	12 者	6 者	6 者	36 者
	実績	24 者	43 者	8 者	15 者	90 者

◆ 自己評価

専門家との個別相談時や補助金計画書策定、融資相談の際に経営状況（財務）分析を行った。経営分析事業者数は目標を上回る実績数を達成することができた。

経営分析は、経営計画の見直しや策定に役立つため事業者支援の重要なプロセスであるため、次年度も専門家との個別相談も含め継続的に行っていく。

3. 経営状況の分析に関すること

	A	B	C	D
評価	6	3	0	0

■評価委員コメント欄

- ・特徴的な分析結果があれば教えてほしい
- ・取組姿勢が積極的で素晴らしい
- ・経営状況分析から経営計画の見直し、課題解決につながった事例をできる範囲で共有できたら良いと思います
- ・補助金申請件数は増えていると思いますので、効果が認められるものと思います
- ・経営分析はより多くの事業者です。それによって色々な場面で気づく点がある
- ・資金援助等の適正な時期を把握
- ・目標以上で良好
- ・より多くの事業者に対して実施できるよう、働きかけを願う
- ・事業者の支援のため継続的に行ってください
- ・経営分析は必要、多くの実績で良かった
- ・目標を大きく上回っていて良い結果であるが、目標が少ないのでは？

4. 事業計画策定支援に関すること

◆ 計画の概要

DX推進セミナーを開催し、IT導入及び効果的な活用に取り組む
経営塾により事業計画策定の機会を創出し、実現性の高い事業計画策定の支援をする

◆ 実施内容

- ・各事業所の事業計画（経営革新計画、各種補助金申請時の事業計画）策定支援
- ・DX推進 講師：グローバルマーケティング㈱ 会場：棚倉町商工会館
セミナー：①7.28（12名）② 8.22（17名）③11.17（6名）
個別相談：全24回（8事業所）
- ・経営塾 講師：ユイネクスト㈱ 会場：塙町商工会館
セミナー：①9.27（14名）② 10.12（17名） 個別相談：全14回（10事業所）

◆ 目標

① DX推進セミナー	目標	実績	② 経営セミナー				目標	実績
	1回	1回					1回	1回
事業計画策定 事業者数	R5	塙 町	棚倉町	矢祭町	鮫川村	合計		
	目標	12 者	12 者	6 者	6 者	36 者		
	実績	24 者	43 者	8 者	15 者	90 者		

◆ 自己評価

DXセミナー、経営セミナー共に2部構成で開催し、業種に合わせた内容で事業所へ提案できた。
利益確保が見込めるよう事業計画を専門家と連携し、個別相談対応を行えた。
DX推進も、販路開拓のためのDXの取組を行った。次年度も事業者に寄り添った支援に取り組む。

4. 事業計画策定支援に関すること

	A	B	C	D
評価	3	6	0	0

■評価委員コメント欄

- ・計画策定したことで事業者の意識変化はありましたか？具体的な意識変化があったなら教えてほしい（計画策定を初めて経験した方や、複数回策定している事業者の差など）
- ・目標を達成している
- ・各事業主がしっかり理解しているか確認も必要か？
- ・利益確保が見込める事業計画や販路開拓のためのDXの具体的な取り組み例を記載してほしいと思った（口頭での回答はあった）
- ・フォローアップは大事であるので理解を得られるように
- ・DXを特に進める
- ・実績も多い
- ・策定に計画が達成できるよう継続支援が必要
- ・前年度以前に策定支援した結果、その後どうなったのかの情報がほしい
- ・引き続き事業者に寄り添った支援の取り組みをお願いします
- ・事業者に寄り添った支援が必要
- ・実現性のある事業計画が必要
- ・次年度も期待します

実施内容と自己評価

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

◆ 計画の概要

策定した事業計画が円滑に実施されるように定期的にフォローアップを行い、計画の修正が必要な場合においては、具体的な改善策を提案し、必要に応じて専門家からの指導・助言を行う

◆ 実施内容

- ・事業計画（経営革新計画や各種補助金申請）後の進捗状況及び実績報告の作成支援
- ・フォローアップ事業（経営革新承認者：7名） 講師：綿貫有二（中小企業診断士）
セミナー：①9.27（7名）② 2.19（7名） 個別相談：全22回（7事業所）

◆ 目標

	R5	埴 町	棚倉町	矢祭町	鮫川村	合 計
フォローアップ 対象事業者数	目標	12 者	12 者	6 者	6 者	36 者
	実績	14 者	32 者	7 者	15 者	68 者
売上増加事業者数	目標	4 者	4 者	2 者	2 者	12 者
	実績	7 者	16 者	5 者	7 者	35 者
フォローアップ 延べ支援回数	目標	48 回	48 回	24 回	24 回	144 回
	実績	92 回	131 回	39 回	61 回	323 回

◆ 自己評価

事業者の事業計画の進捗状況確認や補助事業実施後の実績報告等のフォロー支援及び経営革新計画承認者には、専門家と連携し事業計画のPDCA・見直し等のフォローアップを行った。計画の見直しから新たな経営革新計画に繋がった事業所もあり効果的な支援となった。実績数も目標数を上回っており、次年度も継続的なフォローアップに取り組む。

評価委員による評価

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

	A	B	C	D
評価	6	3	0	0

■評価委員コメント欄

- ・特徴的な支援事例の紹介がほしい
- ・支援を受けた事業者の感想などもほしい
- ・フォローアップ数が年々増えていくと思うが、指導員さんには頑張ってほしい
- ・いずれも目標を上回っている
- ・売上増加事業者数が増加傾向であるかどうか、増加傾向であれば効果的な支援があると思う
- ・目標以上であり良好（目標数は良いのか）
- ・売り上げ増加は維持できるか？
- ・フォローアップの回数もいいくて良い。今後も継続支援を望む
- ・事業計画（経営革新計画等）策定者数＝フォローアップ対象者数では？実績が目標を上回ることがあるのか？と考えてしまいます。
- ・引き続き取り組みをお願いします
- ・事業計画フォロー支援良かった
- ・実績数が多く良かった。継続的な支援を

実施内容と自己評価

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

◆ 計画の概要

商談会（展示会・物産展）等への出展支援やIT活用（DX推進）による、新たな販路の開拓の支援をする

◆ 実施内容

- ・地方銀行フードセレクション（R5.10.3～4、東京ビッグサイト）へ出展（4事業者）
- ・東白川地区物産展（R5.11.24、ベトナムハノイ市）開催（1事業者）
- ・福島県商工会連合会ECサイト「シオクリビト」による販路開拓支援（6事業所）
- ・DX個別相談会（全3回）Googleマップ活用、YouTube・SNS活用（8事業者）
- ・フォローアップ事業（個別相談）でIT活用の取り組み支援

◆ 目標

	R5	塙町	棚倉町	矢祭町	鮫川村	合計
商談会参加事業者数	目標	1者	1者	1者	1者	4者
	実績	2者	1者	1者	1者	5者
DX取組事業者数	目標	2者	2者	1者	1者	6者
	実績	5者	9者	2者	4者	20者

◆ 自己評価

3年ぶりに商談会（東京）へ出展支援を実施し、1事業所では2件の新規取引先獲得に繋がった。さらにベトナムで開催した物産展では、商品評価も高く今後の取引も見込める支援となった。ECサイト「シオクリビト」への継続支援や専門家と連携し事業所のDX支援を実施し、目標数を上回る件数となった。次年度も商談会・DXの支援に取組み新たな需要開拓へ寄与する。

評価委員による評価

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

	A	B	C	D
評価	3	6	0	0

■ 評価委員コメント欄

- ・シオクリビトに登録したその後についての報告があってもよい
- ・海外展開においてはJETROとの連携も考えてみてはどうか
- ・すべてが積極的で素晴らしい
- ・「ベトナム」「シオクリビト」など期待しています
- ・ベトナムは有望と思われる
- ・シオクリビトはもっと広報すべき、あるいは方法等を考える
- ・シオクリビトによる支援、大変良い取り組みと思うが、シオクリビト自体の周知PRが必要
- ・地方銀行フードセレクション等、参加事業者増えると良い
- ・引き続きお願いします
- ・商談会等は必要。多くの物産展、商談会を望みます

実 施 内 容	評 価 委 員 に よ る 評 価
7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること ◆ 実施内容 ・第1回評価委員会 日時 令和5年8月8日（火）午後3時 場所 埴町商工会館 内容 令和5年度経営発達支援事業について 参加者 委員9名 ・第2回評価委員会 日時 令和6年2月20日（火）午後3時 場所 埴町商工会館 内容 令和5年度経営発達支援事業の実施報告について 参加者 委員9名 8. 経営指導員等の資質向上等に関すること ◆ 実施内容 ●中小企業大学校研修（東京校、仙台校、WEB） ・基礎研修：経営診断基礎（商業コース）旧基礎研修Ⅱ ・専門研修：伴走型支援に役立つロジカルライティング（WEB） ・専門研修：顧客に愛される高収益な会社づくりの支援 ・オーダーメイド研修：製造業支援の進め方 ●課題別研修会 ・DX支援：ChatGPT入門編、ChatGPT応用編 ・電子帳簿保存法、インボイス制度対応	7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること ■評価委員コメント欄 ・前年度までの意見で、当評価委員会前に委員へ報告書を事前に配布すると、より議論ができるということであったが、どうなっているのか ・行政と関係を持ちながらの事業が大事である ・検証等に多大な時間が必要であろうが、各取り組みを実施した結果、事業者の経営等がどう変化したかデータがあればより良い評価ができるのではないかと 8. 経営指導員等の資質向上等に関すること ■評価委員コメント欄 ・研修を受けたことだけでなく、どのように支援に効果があったか具体的な報告がほしい ・事業者へどのようなフィードバックを考えているのか知りたい ・東白川地区の経営指導員はコツコツとまじめに取り組む方が多い ・各個人のスキルアップが大事（人数が不足している） ・職員同士情報を共有し会員の力になってほしい

経営発達支援計画 事業評価委員会 名簿

委 員 長 芦田健一（芦田中小企業診断士事務所）

委 員 古橋博（埴町商工会長） 大寺弘文（埴町役場まち振興課長） 立石誠（棚倉町商工会長） 鈴木英作（棚倉町役場産業振興課長）
藤田清（矢祭町商工会長） 古市賢（矢祭町役場事業課長） 前田勝之（鮫川村商工会長） 舟木正博（鮫川村役場農林商工課長）

ワザパー 松本友香（福島県商工会連合会中通り広域指導センター）